

和歌山市G-Pネットニュースレター

第10号（令和2年10月）

G-Pネットとは…うつ病の早期発見・早期治療を目的とした一般診療科医と精神科医の連携システムの名称です。

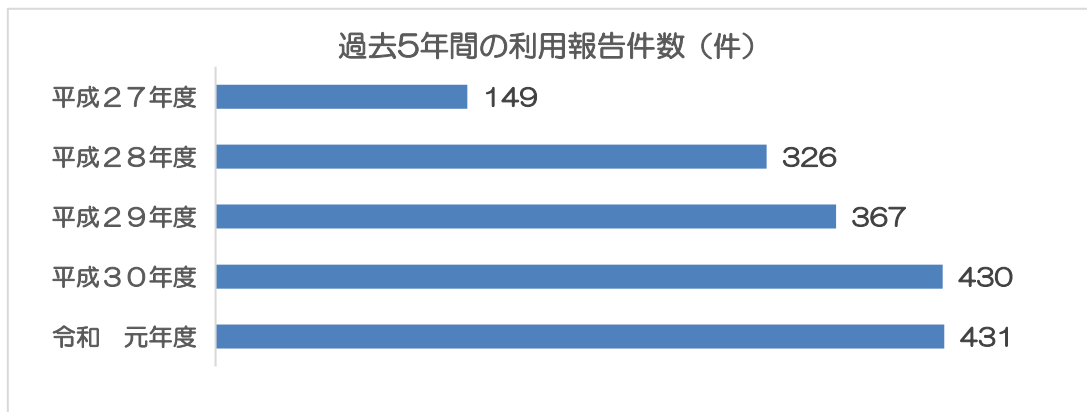
日頃は、和歌山市の精神保健医療にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成25年4月から、うつ病の早期発見・早期治療を目指し、一般診療科医と精神科医の連携方法を明確にしたシステム「和歌山市G-Pネット」(General Physician-Psychiatrist Network)」を運用しています。

このG-Pネットは、和歌山市自殺対策強化事業の一環としての取り組みでもあり、G-Pネットの周知と、一般診療科医と精神科医との医療連携を深めていただくためにニュースレターを発行しています。

今回の第10号は、令和元年度の和歌山市G-Pネット利用報告書の集計結果を掲載します。協力可能な和歌山市内の精神科等医療機関（21か所）からの利用報告件数は431件でした。下記のとおり、この5年間で報告件数は増加しており、和歌山市G-Pネットの定着は促進されてきたと考えられます。

今後も和歌山市G-Pネットの趣旨をご理解いただき、引き続き活用をよろしく願います。



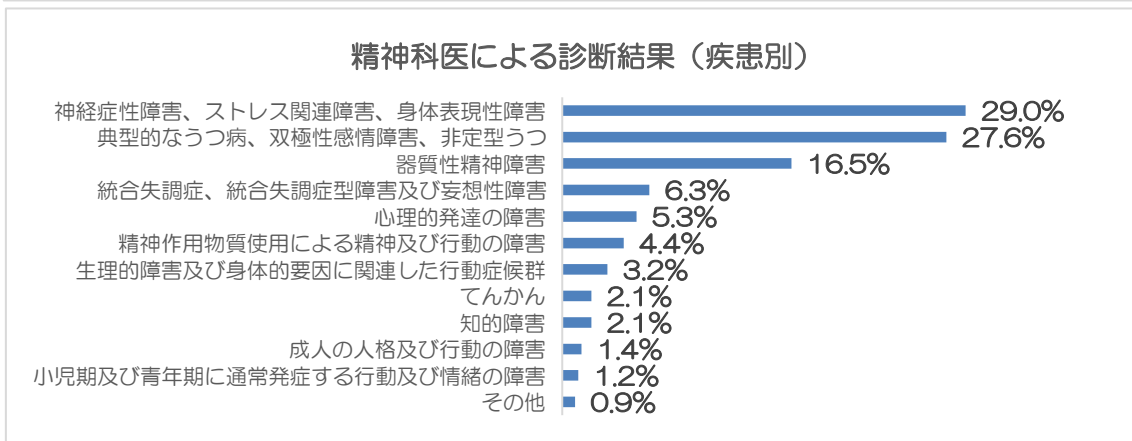
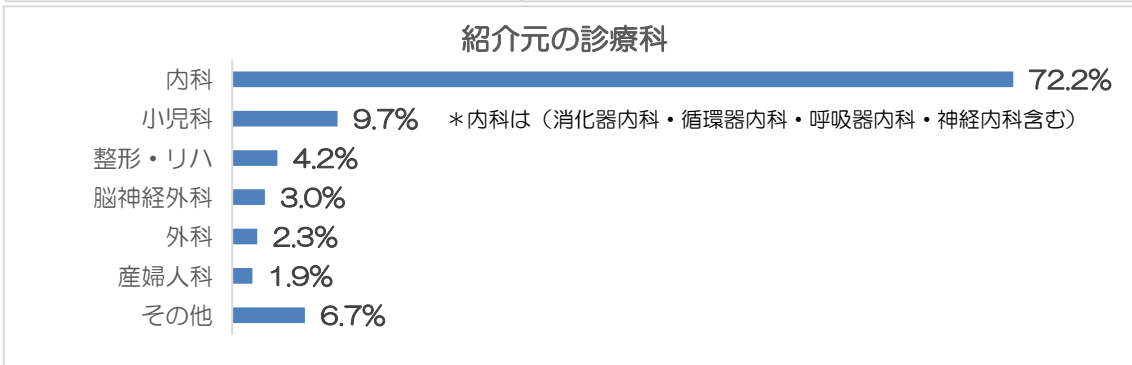
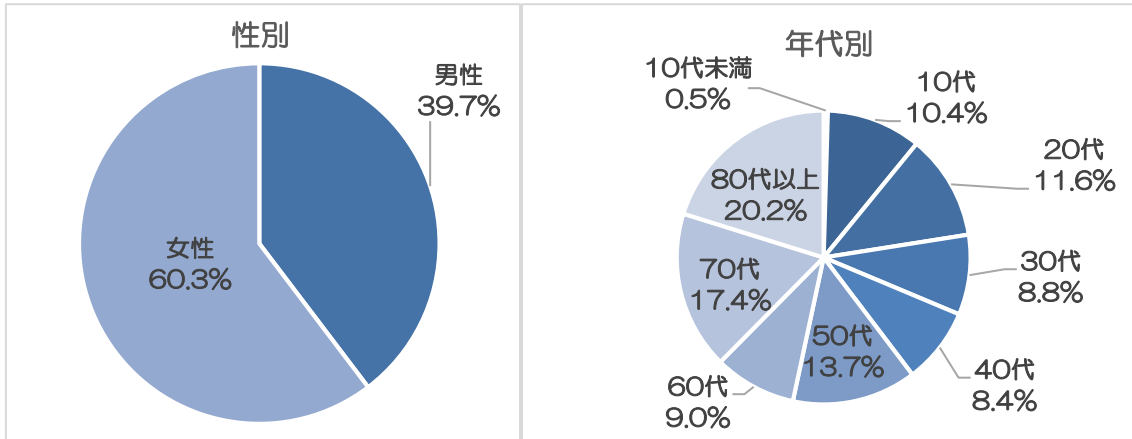
※なお、過去のニュースレターは和歌山市ホームページに掲載しています。和歌山市ホームページ上の「和歌山市G-Pネット（General Physician-Psychiatrist Network）」（ページ番号：1001553）から閲覧できます。また、和歌山市G-Pネットの利用方法は、同ページの「和歌山市G-Pネットに関する手引き～」で確認することができます。協力可能な和歌山市内の精神科等医療機関を紹介していますので、一般診療科医と精神科医の連携を更に深めるためにご活用ください。

発行：和歌山市保健所 保健対策課 こころの健康対策グループ
〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2-15
TEL 073-488-5117 FAX 073-431-9980
E-mail: hokentaisaku@city.wakayama.lg.jp

○和歌山市 G-P ネットを利用した一般診療科医から精神科医への連携状況について

(令和元年度の和歌山市 G-P ネット利用報告書より集計)

令和元年度に和歌山市 G-P ネットを利用して一般診療科医から精神科医に紹介された件数は431件でした。



(まとめ)

令和元年度の和歌山市 G-P ネット利用報告書を集計した結果、女性が 60.3%、男性は 39.7%という結果でした。年代別では、G-P ネットが原則ターゲットにしている 30 代～60 代の中高年世代は全体の 39.9%でした。また 70 代以上の高齢世代が 37.6%でした。紹介元の診療科別では「内科」が最も多く 72.2%となっています。紹介により精神科医が診断した結果、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」が 29.0%で最も多く、次いで「典型的なうつ病、双極性感情障害及び非定型うつ」が 27.6%でした。

なお、診療後の結果については、「精神科に継続通院」が 76.3%、「入院」が 8.1%でした。

今後もうつ病の早期発見・早期治療を目指し、一般診療科医と精神科医との医療連携に取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。